

J R 東金線の利便性の向上に向けた働きかけを求める意見書

J R 東金線では、J R 京葉線への直通運転が実施されており、その利用者の多くは、千葉・東京方面に通勤・通学する方々であり、通勤・通学時間帯の増便や乗り換え・待ち時間の短縮など、一層の利用者の利便性向上が急務となっている。

先般、J R 東日本から、東京都心と羽田空港とを乗り換えなしで結ぶ「羽田空港アクセス線構想」が発表されたところであり、実現すれば、東京臨海部と羽田空港間のアクセスが飛躍的に向上することが予想される。

この構想の中で、J R 京葉線の新木場駅から東京臨海高速鉄道りんかい線（以下「りんかい線」という。）を経由して羽田空港を結ぶルートは、2020年のオリンピック・パラリンピック前の暫定開業が検討されている。

J R 京葉線とりんかい線は、新木場駅の蘇我方面で線路がつながっており、相互直通運転が可能な線路配置となっているが、現在のところ、相互直通運転は行われていない。

J R 東日本の「羽田空港アクセス線」構想及びJ R 京葉線とりんかい線の相互直通運転が実現すれば、その効果は、J R 京葉線沿線だけにとどまらず、J R 京葉線との直通運転を実施しているJ R 東金線の沿線にある本市へも波及することは確実である。

J R 京葉線とりんかい線の相互直通運転の早期実現及びJ R 東金線とJ R 京葉線との直通列車の増発について、国において、鉄道事業者に対し、働きかけを行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成26年12月19日

千葉県東金市議会議長 石 田 明

内閣総理大臣
国土交通大臣

あて